

知床世界自然遺産地域における平成19年度実施ソフト事業について

資料3-2

番号	機関名	名称	事業の概要	備考(平成20年度の継続の有無など)
1	環境省	羅臼ビジターセンターホームページの作成	平成19年度11月より新たに羅臼ビジターセンターのホームページを公開した。知床国立公園の主に羅臼側の自然や歩道・道路・野営場といった利用施設について、最新の情報を全国へ発信している。今後も内容の充実を図り、世界自然遺産や利用適正化にかかる情報提供を行う予定。 http://rausu-vc.jp/	平成20年度はHPの充実、更新を行う
2	環境省	羅臼ビジターセンター関連パンフレットの作成。	羅臼ビジターセンターの館内概要パンフを新たに作成し、7月から道東の自然系施設や道の駅などで配布開始。また館内展示の英訳解説ブックも作成しており、3月末に完成の予定。	平成20年度は中国語版、韓国語版について検討。
3	環境省	地元住民向け講演会の開催	平成19年度から、羅臼ビジターセンターを拠点として、地域住民を対象とする講座を開催し、野生生物の保護管理や自然環境保全に係る地域住民の意識の高揚を促進。今年度は、羅臼ビジターセンターでの講座を7回、出張講座を3回行った。	羅臼VCでのイベントとして地域に定着しつつあり、来年度も継続して行う。
4	環境省	知床世界自然遺産生態系調査報告会の開催	平成20年3月に札幌において知床世界自然遺産地域に関わる様々な調査研究の報告会を行った。総合討論においては、知床に関わる研究者ネットワークのあり方や、調査結果の地元への還元について議論がなされた。	来年度も札幌にて同様の報告会を開催する。また、知床に関連する調査について、斜里町・羅臼町において説明会を開催する。
5	環境省	知床データセンターの整備	平成17年度から運用開始している知床データセンターについて、データの整理、機能の見直し、他のHPとの関係などを含めた知床データセンターの方向性を検討した。	来年度は今年度の検討結果を踏まえ、改良を行う
6	環境省	知床半島先端部地区利用の心得の策定	利用適正化検討会議での議論を踏まえ、2008年1月に知床半島先端部地区利用の心得を策定し、普及啓発用パンフレットを作成し、主要利用拠点に配布した。	来年度は先端部地区利用の心得の周知に努めると共に、中央部地区についても利用の心得を作成する。
7	環境省	道東の国立公園(知床、阿寒、釧路湿原)におけるガイドブックの作成	それぞれの国立公園について、外国人等旅行者(個人・家族・小グループ)を対象として、主に写真を用いて国立公園の特徴及び魅力を解り易く紹介。英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、日本語で作成。	来年度はガイドブックを活用して、洞爺湖G8サミット等で、道東の国立公園や自然環境の魅力について、海外向けに広報・情報提供を検討
8	環境省	「知床エコツーリズムガイドライン」普及パンフレットの日本語版及び英語版作成	「知床エコツーリズムガイドライン」普及パンフレットの日本語版及び英語版を作成し、配布した。	来年度は中国語版等の作成を検討

番号	機関名	名称	事業の概要	備考(平成20年度の継続の有無など)
9	環境省	北の希少野生生物(仮称)パンフレット・展示用パネル作成	国内外の観光客等へ道内の希少野生生物(保護増殖事業が行われている7種が中心)に関する現状と取組を照会するパンフレットと展示用パネルを作成・配布予定	来年度は配布及び展示予定
1	林野庁	河川工作物の取り組みに関する普及啓発資料の作成	3年間にわたる河川工作物に関する取り組みについての普及啓発を図るため、冊子、DVD等を作成。	今年度限り
2	林野庁	「知床自然の森林づくり」協働モデル事業(ビジョンの作成)	「知床永久の森林づくり協議会」を設置し、知床における企業等の多様な主体による国民参加の森林づくりを推進するための仕組みについて検討し、2008年3月に「知床における国民参加の森林づくり活動の推進に関するビジョン」を策定した。	継続して協議会を開催し、「知床における国民参加の森林づくり活動の推進に関するビジョン」の実践に向けた取組を実施する。
3	林野庁	「知床自然の森林づくり」協働モデル事業(森林づくり応援マップ、森林環境教育プログラムの作成)	知床における国民参加の森林づくりを推進するため、森林づくりや森林環境教育フィールドについて斜里側、羅臼側それぞれのマップを作成すると共に、そのフィールドでの森林環境教育実施のためのプログラムを作成した。	今年度限り
4	林野庁	各種イベントの開催	国民参加の森林づくりを推進するため、森林散策や森林の恵みを活用したクラフト体験などの様々な体験活動を一般公募により開催した。 平成19年度は10回の開催で延べ約230人の参加。	平成20年度も同様に開催する予定。
5	林野庁	羅臼湖ツアーの開催	羅臼湖周辺の希少植物・樹木の観察、知床連山等の景色を楽しみながら、世界自然遺産地域を含めた森林環境保全の大切さを学ぶため、羅臼湖遊歩道散策ツアーを一般公募により開催。	平成20年度も同様に開催する予定。
1	北海道	知床の適正な利用のルールに関するパネルの作成	知床の適正な利用のルールに関するパネルを20種作成。日本語の他、英語、中国語、韓国語も表記した。	知床周辺での展示に向け、関係機関と調整予定
2	北海道	しれとこ教室の開催	地元網走支庁、根室支庁管内を除く全道21の小学校で、知床の素晴らしさや保全の大切さを伝える出前授業を実施した。	札幌周辺で実施予定
3	北海道	Web版しれとこ教室の作成	上記「しれとこ教室」のストーリーをベースに、ホームページにWeb版を作成した。(3月中に、アップの予定)	HPの管理を実施
4	北海道	エコツアーモデルルート商談会の実施	平成18年度に作成した13本のモデルルートについて、東京で商談会を実施した。	19年度単年度事業。 今後、参加業者からの相談等に協力していく

番号	機関名	名称	事業の概要	備考(平成20年度の継続の有無など)
5	北海道	エコツアーモデルルートのエージェント向け体験ツアーの実施	モデルルートの商品化に向け、エージェントに対しモデルルート(2本)の体験ツアーを実施した。	19年度単年度事業。 今後、参加業者からの相談等に協力していく
6	北海道	エコツアーガイドスキルアップ研修の実施	エコツアーの中核的な担い手となるガイドの質の向上を目指し、網走、釧路、根室管内で研修を実施した。	来年度も網走、釧路、根室管内で実施予定
7	北海道	エコツアー地域資源のWeb情報発信	平成18年度に調査したエコツアー地域資源178箇所を広く情報発信するため、ホームページにWeb版を作成した。(3月中旬に、アップの予定)	HPの管理を実施
1	北海道 開発局	知床横断道路「今日の知床峠」、 「通行規制情報」のHP掲載	釧路、網走開発建設部HPにおいて、知床横断道路の通行規制情報を掲載している。	継続
1	斜里町	しれとこ100平方メートル運動地における森林再生事業	運動によって取得した開拓跡地を開拓以前の森林環境に復元する。	継続(H9～)
2	斜里町	しれとこ100平方メートル運動地公開試行事業	しれとこ100平方メートル運動地の適正な公開のあり方を検討をすすめるため、試行プログラム等を実施。	継続(H17～)
3	斜里町	第28回知床自然教室	しれとこ100平方メートル運動参加者と町内の小中高校生を対象にした野外体験事業。7月30日～8月5日実施。	継続(昭和55～)
4	斜里町	第11回しれとこ森の集い	しれとこ100平方メートル運動参加者と町民を対象にした事業。森づくりの現場見学と記念植樹を実施。9月16日実施。	継続(H9～)
5	斜里町	森づくりワークキャンプ	しれとこ100平方メートル運動地における森林再生作業をスタッフとともに行う。11月1日～5日実施。	継続(H9～)
6	斜里町	世界遺産知床体験学習事業	斜里中学校1年生を対象に、知床半島斜里側で船による自然観察会および事前学習。6月下旬から7月上旬にかけて実施。	継続(H19～)
7	斜里町	流水の海の動物観察会(知床博物館)	小学4年生から高校生を対象に、知床半島羅臼側で船による流水の海の動物観察会をおこなった。羅臼町教委と共催。3月1日実施。	継続(H12～)
8	斜里町	羅臼岳シダ観察会(知床博物館)	一般を対象に、羅臼岳の羅臼側登山道で信州大学教授の佐藤利幸氏を招いてのシダ植物観察会。10月10日実施。	19年度単年度実施
9	斜里町 環境省	知床国立公園クリーン事業(知床岬)	知床岬など遺産地域内において海岸清掃実施(19年度は5月23日。ただし当日悪天候のため、遺産地域外で清掃活動を実施)。	継続(H15～)

番号	機関名	名称	事業の概要	備考(平成20年度の継続の有無など)
1	羅臼町	知床岬クリーンボランティア	羅臼町と町内のNPO法人との共催により、知床岬での海岸清掃実施。 19年度は4回実施し、793kgの漂着ごみを収集。	継続
2	羅臼町	第25回ふるさと少年探検隊	羅臼町教育委員会と羅臼町子ども会育成協議会の共催により、町内の小学4年生から中学3年生を対象に行う野外体験事業。	継続
3	羅臼町	ふるさと体験教室	羅臼町教育委員会主催事業。小学4年生から6年生を対象に、毎年テーマを決め5月～2月の期間実施し、地元の自然を楽しみながら学ぶ。19年度テーマは「鳥」。	継続 2月:オジロ・オオワシ観察会参加
4	羅臼町	オジロ・オオワシ観察会	羅臼町教育委員会主催事業。海上よりオジロワシ・オオワシ、アザラン等を観察。天然記念物や生態系に対する理解を深める。	継続 平成19年度:斜里町、流水の海の動物観察会(知床博物館)と共催
5	羅臼町	羅臼地区中高一貫教育	中学から高校の6年間を連携してきめ細かな授業を目指す。カリキュラムの中には、知床の自然環境や水産業、観光などを通じたの人間との関わりについての課程を設け、世界遺産登録地域に住む住民としての誇りをもてる人材の育成を図る。	継続
1	知床雪壁ウオーク実行委員会	知床雪壁ウオーク	05年7月に日本で3箇所目の「世界自然遺産」に登録された知床半島。その大動脈、知床横断道路(国道334号)は冬季間、通行止めになっている。道路では春が近づくとゴールデンウィーク前の開通をめざし、北海道開発局による除雪作業が始まる。この一部を前年同様に開放し、雪に覆われた羅臼岳を望みながらウォーキングを楽しむとともに除雪作業を見学。自然保護と道路維持の大切さを知る。	平成19年4月21日開催 平成20年4月19日開催予定 知床雪壁ウオーク実行委員会(斜里町、羅臼町、知床斜里町観光協会、知床羅臼町観光協会、読売新聞北海道支社)
1	知床紅葉ウオーク実行委員会	知床紅葉ウオーク	知床半島が平成17年7月に世界自然遺産に登録され、国内外から多くの観光客が訪れ、貴重な自然が残る知床に感動したと思います。知床紅葉ウオークは、知床横断道路を歩きながら、その大自然が織り成す紅葉の素晴らしさを味わうとともに、貴重な自然を守ることの大切さを知ってもらうというものです。	平成19年10月13日(天候により中止) 平成20年10月4日開催予定 知床紅葉ウオーク実行委員会(斜里町、羅臼町、知床斜里町観光協会、知床羅臼町観光協会、読売新聞北海道支社)